



Mercedes-Benz

メルセデスの新世代プレミアムミドルサイズ SUV

Press Information

2017年2月22日

「GLC 200」および「GLC 220 d 4MATIC」を追加 「GLC 250 4MATIC」「GLC 350 e 4MATIC スポーツ」 「メルセデス AMG GLC 43 4MATIC」の装備を一部改良

- ・ クリーンディーゼルモデル「GLC 220 d 4MATIC」を追加
- ・ 2輪駆動ガソリンモデル「GLC 200」を追加
- ・ 「GLC 250 4MATIC」にAIR BODY CONTROLサスペンションなどを標準装備

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:上野金太郎、本社:東京都品川区)は、メルセデス・ベンツ「GLC」のラインアップに「GLC 200」および「GLC 220 d 4MATIC」を追加し、全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じ本日より発売します。

「GLC」は、メルセデス・ベンツのベストセラーモデル「Cクラス」と同等の安全/快適装備を備えるとともに、SUVならではの高いアイポイントと同セグメントでは低い重心による乗用車のような乗り心地を合わせ持つプレミアムミドルサイズSUVです。

GLC 200の特長

最高出力184PS/135kW、最大トルク300N・mを発揮する2.0リッター直列4気筒BlueDIRECTターボエンジンに、メルセデス最新の9速オートマティックトランスミッション「9 G-TRONIC」ナインジートロニックを組み合わせたGLCで唯一の2輪駆動ガソリンモデルです。SUVモデルを好まれる都会派のユーザーにはぴったりなFRレイアウト(2輪駆動)のエントリーモデルです。車両本体価格は597万円からの魅力的な設定としております。なお、スポーティな内外装やメモリー付パワーシートを装備した「GLC 200 スポーツ」もご用意しています。

ラインアップ: GLC 200
GLC 200 スポーツ

GLC 220 d 4MATICの特長

内外装や機能装備を「GLC 250 4MATIC」と同等とし、最高出力170PS/125kW、最大トルク400N・mを発揮する2.2リッター直列4気筒BlueTECエンジンに、メルセデス最新の9速オートマティックトランスミッション「9 G-TRONIC」ナインジートロニックを組み合わせたGLCのクリーンディーゼルモデルです。重量が重いSUVに力強い動力性能と優れた燃費経済性をもたらします。また、排出ガスに尿素水溶液「AdBlue」アドブルー®を噴射することにより化学反応(還元作用)を発生させ、有害な窒素酸化物(NOx)を大幅に削減する尿素SCR(Selective Catalytic Reduction: 選択型触媒還元)ディーゼル排出ガス処理システム「BlueTEC」を採用し、世界で最も厳しいとされる日本のディーゼル排出ガス規制に適合する優れた環境性能を実現しています。

上記装備に加え、路上から目を離すことなく運転に必要な情報が確認できるヘッドアップディスプレイと後席シートヒーター、スポーティな内外装を備えた「GLC 220 d 4MATIC スポーツ」、さらに、これらに加え本革シート、パノラミックスライディングルーフ、エアコンディショナーに、空気清浄機能と心地よい芳香を拡散するパフュームアトマイザー機能を備えるエアバランスパッケージ、最上のナチュラルサウンドをお届けするBurmester®サラウンドサウンドシステム等を備えた「GLC 220 d 4MATIC スポーツ(本革仕様)」もご用意しています。

ラインアップ: GLC 220 d 4MATIC
GLC 220 d 4MATIC スポーツ
GLC 220 d 4MATIC スポーツ(本革仕様)

GLC 250 4MATICの変更点

GLC 250 4MATIC には、走行状況に合わせて乗り心地をお好みのセッティングに変えられる AIR BODY CONTROL サスペンション、インテリアの高級感を演出するブラックアッシュウッドトリム、路上から目を離すことなく運転に必要な情報が確認できるヘッドアップディスプレイを標準装備しました。

AIR BODY CONTROLは車速や走行条件に応じて、ダンピング特性や車高を自動的に調整する電子制御式エアサスペンションです。路面状況、運転状況、乗車人数や積載状況に応じて、減衰力を常に最適に保ちます。高速走行時には車高が自動的に下がり、ハンドリング性能、空力特性および燃費を向上させます。また、荒れた路面などでは最低地上高を15mm高めることができます。乗車人数などによる車体姿勢の変化を補正するセルフレベルリング機能により、常に変わらないハンドリング特性を実現します。

GLC 350 e 4MATIC スポーツ, メルセデスAMG GLC 43 4MATICの変更点

路上から目を離すことなく運転に必要な情報が確認できるヘッドアップディスプレイを標準装備しました。

なお、いずれのモデルにも、メルセデスの先進安全運転支援システム「レーダーセーフティ」や夜間走行時に周囲の状況に応じてヘッドライトの照射範囲を調節することで、ドライバーに最大限の視界を確保するLEDインテリジェントライトシステム、自動ステアリング操作により駐車をサポートするアクティブパーキングアシスト等を標準装備することで、メルセデスの安全性と快適性を備えています。

GLCのラインアップおよびメーカー希望小売価格は以下の通りです。

モデル	エンジン	ステアリング	メーカー希望小売価格 ()内は消費税抜き車両本体価格
GLC 200	2.0L、直 4 直噴ターボ	右	¥ 5,970,000 (¥ 5,527,778)
GLC 200 スポーツ	2.0L、直 4 直噴ターボ	右	¥ 6,370,000 (¥ 5,898,149)
GLC 220 d 4MATIC	2.2L、直 4 直噴ディーゼル ターボ	右	¥ 6,280,000 (¥ 5,814,815)
GLC 220 d 4MATIC スポーツ	2.2L、直 4 直噴ディーゼル ターボ	右	¥ 6,830,000 (¥ 6,324,074)
GLC 220 d 4MATIC スポーツ (本革仕様)	2.2L、直 4 直噴ディーゼル ターボ	右	¥ 7,450,000 (¥ 6,898,149)
GLC 250 4MATIC スポーツ	2.0L、直 4 直噴ターボ	右	¥ 7,020,000 (¥ 6,500,000)
GLC 250 4MATIC スポーツ (本革仕様)	2.0L、直 4 直噴ターボ	右	¥ 7,690,000 (¥ 7,120,371)
GLC 350 e 4MATIC スポーツ	2.0L、直 4 直噴 ターボ+ハイブリッド	左	¥ 8,730,000 (¥ 8,083,334)
メルセデス AMG GLC 43 4MATIC	3.0L、V6 直噴 ツインターボ	右	¥ 8,730,000 (¥ 8,083,334)

* 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。メーカー希望小売価格は参考価格です。販売店が価格は独自に定めておりますので、詳しくは各販売店にお問い合わせ下さい。

なお、「GLC」にも、新車購入から3年間走行距離無制限の一般保証・メンテナンスサービスと24時間ツーリングサポートを無償提供する総合保証プログラム「メルセデス・ケア」が適用されます。さらに、メルセデス・ケア終了後の有償の保証延長プログラムとして、一般保証および24時間ツーリングサポートを2年間延長する「保証プラス」と、4、5年目のメンテナンスサービスにおいて、初回車検時および4年目の点検や定期交換部品、消耗品の交換をパッケージでご提供する「メンテナンス プラス⁺」をご用意しています。

*新車登録日から59ヶ月後の応当日の前日または総走行距離75,000km到達時のいずれか早い時点で終了となります。



GLC 200



GLC 220 d 4MATIC スポーツ

ディストロニック・プラス(ステアリングアシスト付):

77GHz および 25GHz の 2 種類のレーダーによって先行車を認識し、速度に応じた車間距離を維持します。GLC では、ステレオマルチパーパスカメラの搭載により、車線のカーブと先行車両を認識し、車間を維持しながらステアリング操作をアシストする機能が追加されました。

BAS プラス(飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス):

77GHz および 25GHz のレーダーとステレオマルチパーパスカメラで前方を広範囲にモニターし、先行車に加え、前方を横切るクルマや合流してくるクルマ、さらには歩行者などとの衝突の危険性を検知した場合にドライバーにディスプレイ表示と音で警告し、急ブレーキを促します。ドライバーがブレーキを踏んでも踏み込みが弱い場合はブレーキ圧を増幅することで急ブレーキの効果を高めます。

PRE-SAFE®ブレーキ(歩行者検知機能付):

BAS プラスの警告にドライバーが反応しない場合、軽いブレーキングでドライバーに警告し、衝突回避をサポートします。同時に衝突時に乗員の最適な姿勢を可能な限り確保する PRE-SAFE®機能も作動します。それでもドライバーが反応しない場合、最大のブレーキ力で自動緊急ブレーキが作動します。今回、先行車に加え歩行者も検知する機能が追加され、衝突予防安全性が大幅に向上しました。

リア CPA(被害軽減ブレーキ付後方衝突警告システム):

リアバンパーのマルチモードレーダーが後方を監視し、車間距離と接近速度から衝突の危険があると判断すると、ハザードランプを素早く点滅させて後続車のドライバーに警告するとともに、ドライバーに危険を知らせ、シートベルトテンショナーなどを起動させます。それでも後続車が十分に減速しない際には自動的にブレーキ圧を高めて自車をロックし、玉突き衝突の回避など二次被害の軽減をサポートします。

アクティブレーンキーピングアシスト:

ステレオマルチパーパスカメラが車線を検出し、フロントホイールが走行車線を越えたと判断するとステアリングを断続的に微振動させてドライバーに警告するほか、ESP®の制御を利用して片輪に軽い補正ブレーキをかけることで車線内に戻そうとします。今回、大事故となりやすい対向車との衝突を防止する機能が新たに加わりました。

アダプティブハイビームアシスト・プラス:

ステレオマルチパーパスカメラが対向車や先行車を検知すると、他の車両にハイビームが当たらないよう自動的に照射範囲を制御しながら常に最大の視界を確保します。また、道路標識などにハイビームが反射すると、自動的に減光し眩感を防止します。